

資料3 自由回答

資料3 自由回答

問1「あなた、あるいは同居の家族のだれかが、この1年間に以下に示す1から16の犯罪の被害にあったことがありますか。」

【女】

- 「盗難車の暴走で扉と車両に損傷をうけた」(女 70以上)
- 「アパートの窓ガラスを割られた(空き巣)」(女 60代)
- 「おきびき」(女 60代)
- 「電話で羽毛フツンの洗濯を無料でしてあげるとよくかかる」(女 60代)
- 「植木・置物(人形)など盗まれた」(女 50代)
- 「自転車をパンクさせられた」(女 50代)
- 「置き引き」(女 40代)
- 「盗聴」(女 40代)
- 「自転車のカゴの荷物を盗まれた」(女 40代)
- 「住民からのいやがらせ」(女 30代)
- 「無言TEL」(女 20代)

【男】

- 「置引き」(男 60代)
- 「トラック運転手におどされる」(男 60代)
- 「自動車部品盗」(男 30代)
- 「車のあて逃げ」(男 30代)
- 「勤務先の店へどろぼうが入った」(男 30代)
- 「騒音」(男 30代)
- 「自転車のライトをぬすまれた」(男 30代)
- 「近隣トラブルに巻き込まれた」(男 20代)
- 「置き引き」(男 20代)

問2「この1年間に犯罪の被害にあったのに、被害を警察に届けなかったことのある方にお伺いします。どうして届け出なかったのですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。」

【代わりに別の機関に届け出た】

【女】

- 「保険会社へ」(女 60代)
- 「YAHOOに届け出ました。」(女 30代)

【男】

- 「特定されていた為、学校に」(男 30代)

問2「この1年間に犯罪の被害にあったのに、被害を警察に届けなかったことのある方にお伺いします。どうして届け出なかったのですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【その他】

【女】

「大事にしてた“おもと”が切られただけだったので無届けにした」(女 60代)

「娘が痴漢にあったのは学校のある日はほぼ毎日だったそうですが、やはりはずかしかったし、あきらめていたそうです」(女 50代)

「相手が子供だった」(女 50代)

「下着、衣類を盗まれたから」(女 40代)

「以前の通信教育の教材のサポート費用の振込み46万と言われたが、聞いていなかったし、46万ものサポート費用がないし、10年もたっていたので、消費者センターに相談してみますと言ったら電話がきれた」(女 40代)

「気がついたのが遅かった。盗まれたのがいつかわからない」(女 40代)

「学校内で解決した為」(女 40代)

「自動車に傷つけられたが、犯人がわからない」(女 40代)

「届ける前に解決したから」(女 40代)

「届けてもむだ。この以前に自転車が盗まれ(2~3回)届けたが、結局出てこなかった」(女 40代)

【男】

「金の投入、ゴルフ玉、ペットボトル、車にキズ、タバコ、爪、卵、雪玉、深夜早朝の不明電話、ゴミ当番時に常に大量の違法ゴミ、その他(総て、町内会に意見したのが原因と思われる)」(男 60代)

「お隣さんの電気メーターを調べるのに犬が居て入れず、私の家から見ている」(男 60代)

「古自転車でした」(男 50代)

「犯人の特定がむずかしい」(男 50代)

「海外からの国際犯罪のため」(男 50代)

「こわれかけた自転車だった」(男 50代)

「いつ、どこで傷つけられたか具体的に言えないため(気がついたら、いつの間にか傷つけられていた)」(男 40代)

「金額が小銭(1000円程度だったのでまあいいかと思って)」(男 40代)

「電話したが、夜で留守番電話になっていたので、そのままにしてしまった」(男 30代)

「警察に届けようとしたが、パトロール中で警察が不在なため」(男 20代)

問5「あなたは、日頃、あなた自身や同居の家族が犯罪の被害にあうのではという不安をどの程度感じていますか。」

【非常に不安】

【女】

「思いもよらない巻添事故」(女 60代)

「老後の不安、病気、お金不安、年金」(女 60代)

「花鉢をとられた」(女 60代)

「突然の地震やそして外出した際のビル等の工事現場においての頭上への落下物による不安」(女 60代)

「公衆トイレ」(女 40代)

【男】

「自転車との衝突(歩行者との)」(男 70以上)

「災害、地震、台風、大雨」(男 60代)

「言い掛かりをつけられる」(男 60代)

「ヘリコプター等の騒音」(男 60代)

「店舗にシャッターが無いので、ガラス窓等を壊され侵入される恐れ」(男 60代)

「少年犯罪」(男 50代)

「環境破壊・地球破滅」(男 50代)

「駅のホームで突如後ろから押されるのではないか!」(男 50代)

「痴漢の犯罪者にされてしまう不安」(男 40代)

「このアンケートに回答すること」(男 40代)

【かなり不安】**【女】**

「電車内での若者のルール」(女 70以上)

「路上で上部からの落下物」(女 60代)

「近所の方とのトラブル」(女 50代)

「言葉による暴力が多い」(女 50代)

「近隣住民とのトラブルから起きる犯罪等」(女 40代)

「ガンなどの病気」(女 40代)

「子供が都会で生活しているので」(女 40代)

「もらい事故」(女 40代)

「いたずらでんわ」(女 30代)

「子供のいじめ」(女 20代)

【男】

「不法入国者による強盗殺人」(男 70以上)

「火災」(男 60代)

「個人情報の悪用」(男 60代)

「クレジットカード」(男 60代)

「刑が軽くて犯罪意識がない」(男 60代)

「個人情報の流出について」(男 50代)

「同和書籍販売のTEL」(男 50代)

「いじめによる自殺」(男 50代)

「常識や考え方の違いによるトラブル」(男 40代)

「享乐的な人間が増えている」(男 40代)

「上の部屋の住人が、夜(深夜)酒を飲んで騒ぐ。同居人と?口論する。泥酔して?風呂を空焚きしたまま寝ている。外出中にボヤでも出さないか心配」(男 30代)

「年金問題」(男 30代)

「放火」(男 30代)

「勤務で強盗に合う」(男 20代)

「個人情報の漏えい」(男 20代)

【やや不安】

【女】

「最近無言電話がよくかかる」(女 70以上)

「独り住いは、注意が必要と気をつけてます」(女 70以上)

「敷地が開放的なことから」(女 70以上)

「風で看板他が落下してケガをする」(女 60代)

「1人暮らしに成った時の不安」(女 60代)

「交通事故」(女 60代)

「冤罪」(女 50代)

「犯罪にあっても誰も助けてくれない無関心が多い」(女 50代)

「悪質な健康食品などの薬害、食物被害」(女 50代)

「慈善や宗教を装った集団や、会社ぐるみの不正に巻き込まれる等」(女 50代)

「障害児を持っているので」(女 50代)

「近所に少しかわった人がいる(昔から住んでいる地主の人)」(女 40代)

「ストーカー」(女 30代)

【男】

「具体的に予測できない」(男 70以上)

「医療のミス」(男 60代)

「置引き」(男 60代)

「火災」(男 60代)

「1人住いの娘がいる」(男 50代)

「漠然としていて具体的ではない」(男 50代)

「上記にない被害」(男 50代)

「理由なき犯罪」(男 50代)

「火災」(男 40代)

「変質者による突然の暴行」(男 20代)

【不安はない】

【男】

「自宅訪問の押売、勧誘など」(男 70以上)

「不安に思わない様になっている。子供は成人して同居ではないが不安に思う」(男 60代)

問6「あなた自身や同居の家族が今後1年間に、犯罪の被害にあう可能性がどの程度あると思っていますか。」

【非常に不安】

【男】

「無灯火の自転車との衝突」(男 70以上)

「悪質商法」(男 60代)

「言い掛かりをつけられる」(男 60代)

「環境破壊」(男 50代)

「個人情報の流出について」(男 50代)

「いじめによる自殺」(男 50代)

【かなり不安】

【女】

「意味なく若者がキレル」(女 70以上)

「押し売り」(女 70以上)

「慈善や宗教を装った集団や、会社ぐるみの不正に巻き込まれる等」(女 50代)

「隣人による大音量」(女 40代)

「いたずらでんわ」(女 30代)

【男】

「盗犯など」(男 70以上)

「いやがらせ位の軽い犯罪」(男 60代)

「置引き」(男 60代)

「火災」(男 60代)

「個人情報の悪用」(男 60代)

「交通事故は、ないとは言えない」(男 60代)

「1人住いの娘がいる」(男 50代)

「上記にない被害」(男 50代)

「まきこまれる」(男 50代)

「無差別犯罪」(男 40代)

「痴漢の犯罪者にされてしまう不安」(男 40代)

「訪問販売の悪質なの」(男 40代)

「放火」(男 30代)

「勤務で強盗に合う」(男 20代)

【やや不安】

【女】

「冤罪」(女 50代)

【男】

「医療のミス」(男 60代)

問7「あなたは日常の行動範囲にあるどのような場所で、あなた自身や同居の家族が犯罪の被害にあうのではないかという不安を感じることがありますか。」

【女】

「銀行など」(女 70以上)

「暗い線路づたい、バイパス周辺」(女 70以上)

「スーパー、郵便局などのかえり」(女 70以上)

「スーパー」(女 70以上)

「美術館など」(女 70以上)

「スーパーで買い物している時」(女 60代)

「外国でのテロ」(女 60代)

「店」(女 60代)

「散歩道(荒川の土手・土手下)」(女 60代)

「ATM」(女 50代)

「駐輪場」(女 50代)

「夜の路上」(女 50代)

「大きなスーパー、映画館」(女 40代)

「デパート等買物中」(女 40代)

「トイレ(自宅以外)」(女 40代)

「トイレ(ファミレス、駅、公衆)」(女 40代)

「今は、どこでも安心は出来ないと思う」(女 40代)

「コンビニ」(女 40代)

「デパートなどのトイレ」(女 30代)

「帰り道」(女 30代)

「コンビニ」(女 30代)

「銀行」(女 30代)

「スーパー屋上とか階段」(女 30代)

「ショッピングセンター」(女 30代)

「デパートなど」(女 30代)

「店内にあるトイレ」(女 20代)

【男】

「外の灯油タンク、ガスボンベ(いたずら含む)」(男 70以上)

「畑」(男 70以上)

「敷地に無断で入ってくる」(男 70以上)

「銀行から預金を引出した時」(男 70以上)

「無人のATMコーナー」(男 60代)

「スーパー、デパート」(男 60代)

「スーパーでの買物時」(男 60代)

「板橋区はパチンコ店が多い」(男 50代)

「スーパー等」(男 50代)

「スーパー」(男 40代)

「路地裏、デットスペース」(男 40代)

「スーパー等の店、公衆トイレ」(男 40代)

「通学路」(男 40代)

「通学途中」(男 40代)

「コンビニ等」(男 30代)

「コンビニ」(男 30代)

「駐輪場」(男 20代)

「駐輪場」(男 20代)

「家」(男 20代)

「店内」(男 20代)

「デパート」(男 20代)

「スーパー置引」(男 20代)

問13「犯罪の被害にあわないためにあなた個人は何をしていますか(しましたか)。」

【女】

「犬を飼っている」(女 70以上)

「ハンドバックを肩からたすきがけにする」(女 60代)

「区長さんに相談する」(女 60代)

「ネットで防犯情報をあつめる」(女 60代)

「自転車のカゴのネット」(女 60代)

- 「犬を飼う」(女 50代)
- 「車の中に物をおかない」(女 40代)
- 「町を掃除し、きれいにすること」(女 40代)
- 「うまい話にはのらない」(女 40代)
- 「番犬を飼っている」(女 40代)
- 「外門に鍵をかける」(女 40代)
- 「番犬を飼う」(女 30代)
- 「夜遅く帰宅する時は家まで送ってもらう」(女 30代)
- 「仕事の帰りなど夜遅くに外出しなくてはならない時は、車で安全運転で行くか自転車で行く。1人で歩かない」(女 20代)
- 「夜、外に出るときは犬と一緒に」(女 20代)
- 「夜道を歩くときにケータイで誰かと話しながら歩く」(女 20代)

【男】

- 「夜はタクシーを使う」(男 70以上)
- 「町の困り事相談に電話する」(男 70以上)
- 「歩道を明るくする電灯をつける」(男 70以上)
- 「防犯連絡所を開設している」(男 70以上)
- 「新聞、TV」(男 70以上)
- 「ほとんど外に出ない」(男 60代)
- 「犯罪情報官ニュース受信」(男 60代)
- 「留守にする場合に警察に巡回をお願いする」(男 60代)
- 「侵入経路を断つ「さく」設置」(男 60代)
- 「防犯について常に念頭においている」(男 60代)
- 「防犯ライト センサー付」(男 60代)
- 「危険に対して常に気を配っている」(男 50代)
- 「自主防衛力の整備」(男 50代)
- 「常に110番できる様携帯電話を持ち歩く」(男 40代)
- 「家の周りに燃える物を置いておかない」(男 30代)
- 「防犯灯(センサーライト)の設置」(男 30代)
- 「体を鍛えている」(男 20代)
- 「窓ガラスにフィルム」(男 20代)

問14「あなたは、犯罪の被害にあわないために警察に何をしたいですか。」

【女】

- 「交番が無い」(女 70以上)

「警察官も信用出来ない近頃は、自分の事は自分で守りたい気持ちがします」(女 70 以上)

「警察官は、制服を着て通勤してほしい」(女 60 代)

「家の後ろにサッカー場があり、夜遅くまでうるさく、バイクも乗り入れてきます。(夏は特に花火)。夜中はひびきますので眠れません。電話しても警察はなかなか来てくれません」(女 50 代)

「警察などあてにしない」(女 40 代)

「駅前に交番を(菅田駅の場合、裏側が物騒)」(女 40 代)

「犯罪者の居住地などの情報公開」(女 30 代)

「交番を増やして欲しい」(女 30 代)

「細い道路など死角な所、学校、保育園等周辺に電灯をつけて明るくしてほしい」(女 30 代)

「少年・少女への補導・指導強化」(女 30 代)

「できれば、公園や駅周辺から少し離れた街灯の少ない場所を夕方～夜にかけて、徒歩か自転車でパトロールして頂きたい。そうではないと、ひっそりと言われている犯罪は見逃されやすく、防止という面でもパトカーと共に徒歩や自転車でパトロールして頂いた方が意味があると思う」(女 20 代)

「事件が起きる前に動く。おきてからでは遅いので」(女 20 代)

【男】

「改革改革で世の中がギスギスしている」(男 70 以上)

「交番に常駐していて欲しい」(男 60 代)

「事件がおきる前の予防活動」(男 60 代)

「コンビニエンスストア等 24 時間店と警察等の緊急連絡網」(男 60 代)

「警官の犯罪を防いでほしい」(男 50 代)

「自分の事は自分で守る以外に無いと私自身は現在そう考える」(男 50 代)

「今住んでいる所は 1600 世帯位あるのに交番がなく、通報しても時間がかかりすぎる。交番の設置を望む」(男 50 代)

「夜間パトカーの巡回」(男 50 代)

「警察自体がもっとしっかりしなければならない」(男 40 代)

「口こみによる捜査」(男 40 代)

「地域協働型防犯スキームの構築(セクショナリズムにとらわれない活動)。アウトリーチ活動の強化。交流の拡大。警察不祥事の抑止、住民トラブルの抑止等効果」(男 40 代)

「犯罪の未然防止活動(巡回、訪問等地域密着)」(男 40 代)

「交番の設置」(男 40 代)

「犯人に被害者の住所・氏名を教えない。絶対に。予防になる」(男 40 代)

「気軽に TEL でき、いつでもすぐ来てくれる」(男 40 代)

「住民達の相談に良く乗ってもらおうこと」(男 30 代)

「何もできないから期待しない。警察は市民を守らない。自分が大事」(男 30 代)

「交番を増やす」(男 30 代)

「刑を厳しくする。道徳教育の指導」(男 30代)

「私服の警察官による巡回」(男 30代)

「警官による徒歩や自転車などでの細かい所のパトロール」(男 20代)

「交番をふやしてほしい」(男 20代)

問 15「あなたは、地域の安全を守るために行政に何をしたいですか。

【女】

「警察のパトロールの回数をふやしてほしい」(女 50代)

「発生した犯罪の公表」(女 50代)

「法律を変えるべきだ。未成年の事件が多すぎる」(女 40代)

「犯罪者の居住地などの情報公開」(女 30代)

「幼児・低学年のこどもの管理、注意」(女 30代)

「花火大会等の行事の際防犯パトロール強化(若者が多く集まるため)」(女 20代)

「条令でもいいので、もう少し性犯罪(強姦に至らないケース or 痴漢)に対する罰則を増やして頂きたい」(女 20代)

「街灯を増やす」(女 20代)

【男】

「警察官によるパトロールの強化」(男 60代)

「減税」(男 50代)

「暴走族の取締り」(男 50代)

「交番の設置」(男 50代)

「職員自らのパトロール、公用車等」(男 40代)

「モラル警察の設置」(男 30代)

「法律の厳罰化」(男 20代)

問 18「地域住民による自主的な防犯活動に、あなたが参加したくないとしたら、その理由は何ですか。」

【女】

「烏合の衆になる」(女 70以上)

「病人が居るから」(女 60代)

「パートに出ている為」(女 60代)

「足がいたいから」(女 60代)

「すでに夫が参加しているから」(女 60代)

「自治会が行っている時間があわない」(女 60代)

「当番的には良い」(女 50代)

「男性の方がいいと思うので」(女 50代)

- 「家を空けたくない」(女 50代)
- 「きちんと前もって、講習や対処の仕方を習得してから」(女 50代)
- 「夜は仕事がある」(女 50代)
- 「高齢になった時対応出来ないから」(女 50代)
- 「ひざ故障でケガしたくない」(女 50代)
- 「私にはできそうにないので。年齢的にも、体力的にも」(女 50代)
- 「拘束されたくない」(女 50代)
- 「皆が参加するなら」(女 50代)
- 「介護しているから」(女 40代)
- 「主人が仕事の帰りが遅いので、子供も連れていく事になるから」(女 40代)
- 「住んでる地域で犯罪はない、そう思っているから」(女 40代)
- 「子供が小さいから」(女 40代)
- 「知らない人との交流が、最初は苦手なため」(女 40代)
- 「夜遅くまで働いて疲れている為」(女 40代)
- 「仕事でおそくなることが多いため、時間がとれない」(女 40代)
- 「防犯活動をしなければならないほど治安が悪くない」(女 40代)
- 「防犯活動をやってるが為に狙われそうだから」(女 30代)
- 「妊娠中」(女 30代)
- 「助ける e t c がきつと出来ない。女の人は力がないから甘くみられそう。強くたちむかう男の人の方が相手もひるむし」(女 30代)
- 「強制されたくない」(女 30代)
- 「男性が行った方が効果があると思うから」(女 20代)
- 「夜遅いから」(女 20代)
- 【男】**
- 「皆が出ることになってから」(男 70以上)
- 「今の団体ではだめ。集って酒のむばかり」(男 70以上)
- 「体力に自信がない」(男 60代)
- 「もしもの時に対抗出来ないから」(男 60代)
- 「夜勤が多いため」(男 60代)
- 「何も権限がないから」(男 50代)
- 「アブナイから」(男 50代)
- 「現在、地域犯罪に不安がない」(男 50代)
- 「独自の活動をするとう警察がいやがるから」(男 50代)
- 「地域住民による防犯活動を見た事がない」(男 50代)
- 「子どもが障害児」(男 50代)

- 「特定の人に負担がかかってくる（全員参加はムリがあるから）」（男 50代）
- 「夜の仕事だから」（男 40代）
- 「生活時間帯の違い」（男 40代）
- 「出来る人に偏るやり方はダメ。権力の集中と無関心を生む。不正の温床」（男 40代）
- 「時間がない」（男 40代）
- 「強制ではないので」（男 30代）
- 「親が参加」（男 30代）
- 「仕事で時間があわない」（男 30代）
- 「消防でやっているから」（男 20代）
- 「仕事の都合で参加できない」（男 20代）
- 「仕事で疲れているので」（男 20代）

問 44 「今お住まいの住宅の形態は、次のどれにあてはまりますか。」

【女】

- 「神社」（女 60代）
- 「親族の家を借りている」（女 50代）
- 「両親から借りている」（女 50代）
- 「社宅」（女 50代）
- 「友達の人の家」（女 50代）
- 「社宅」（女 40代）
- 「社宅」（女 40代）
- 「親の持家に同居」（女 40代）
- 「親名義の家」（女 30代）
- 「社宅」（女 30代）
- 「社宅」（女 20代）
- 「借家」（女 20代）
- 「借家」（女 20代）
- 「社宅」（女 20代）

【男】

- 「社宅」（男 50代）
- 「個人の賃貸」（男 50代）
- 「親の持ち家」（男 40代）
- 「父親の持ち家」（男 40代）
- 「親の家同居」（男 40代）
- 「社宅」（男 30代）

「社宅」(男 20代)

問45「今お住まいの住宅の建て方は、次のどれにあてはまりますか。」

【女】

「文化住宅」(女 60代)

「2建長屋」(女 50代)

「二戸連棟」(女 50代)

「2階建6戸」(女 50代)

「ビル」(女 40代)

【男】

「店舗付住宅」(男 60代)

「文化住宅」(男 60代)

「アパート」(男 50代)

「賃貸併用」(男 40代)

「2軒の集合住宅ですが1軒ずつです」(男 20代)

「アパート」(男 20代)

問48「あなたの職業はどれにあたりますか。」【常勤の勤め人の方】

【女】

「病院勤務 給食」(女 60代)

「外交員」(女 60代)

「建設業」(女 60代)

「配達・製造補助」(女 30代)

「介護職」(女 20代)

【男】

「非常勤嘱託職員」(男 60代)

「ケアマネージャー」(男 60代)

「会社員」(男 50代)

「派遣社員」(男 50代)

「警備員」(男 50代)

「高校教諭」(男 50代)

「地方公務員」(男 50代)

「地方公務員」(男 40代)

「運転業」(男 40代)

「運転手」(男 40代)

- 「建設業」(男 40代)
- 「介護職」(男 30代)
- 「ガソリンスタンド」(男 30代)
- 「団体職員」(男 30代)
- 「自動車組立ラインの設計」(男 20代)

問 48「あなたの職業はどれにあたりますか。」【その他の方】

【女】

- 「高齢、公務員リタイヤ」(女 70以上)
- 「貸事務所あり」(女 70以上)
- 「パート4時間」(女 50代)
- 「会社役員」(女 50代)
- 「介護員」(女 50代)
- 「販売アルバイト」(女 40代)
- 「パート週15時間」(女 40代)
- 「パート(週20時間以内)」(女 30代)
- 「週20時間以内勤務のパート16～17時間ぐらい」(女 30代)

【男】

- 「高齢夫婦」(男 70以上)
- 「パート月6日位事務」(男 70以上)
- 「厚生年金」(男 70以上)
- 「シルバー人材センター」(男 70以上)
- 「年金」(男 70以上)
- 「非常勤、専門職」(男 60代)
- 「個人事業主(事務)」(男 60代)
- 「非常勤アルバイト」(男 60代)
- 「運送業」(男 50代)
- 「生活保護」(男 50代)
- 「特別地方公務員」(男 40代)